

あいみ富有の里

平成25年 1月 7日発行
発行元
あいみ富有の里地域振興協議会
広報誌編集委員会
問い合わせ先 64-3504
fuyunosato@town.nanbu.tottori.jp

～お知らせ版 第53号～



年頭に当って

会長 田貝有史

新年明けましておめでとうございます。

賀野地区の住民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えることと心よりお喜び申し上げます。

あいみ富有の里地域振興協議会では、農産物加工施設「えぷろん」で月2回の青空市や、食品づくり講座を開催し、新たな特産加工品づくりも行っています。また、えぷろん周辺の拠点整備を行い、広場を利用し住民同士の交流、ユニットハウスを利用した地域の交流、中山間地域振興のため米子市就將公民館との交流を行っています。

路線バスについては、「御内谷線」存続に向け社会実験を平成25年3月31日まで半年間延長して実施していますが、昨年の利用客は微増にとどまり楽観できません。住民の皆様には、機会があれば是非バスを御利用いただきますようお願いいたします。

最後に、本年が明るく希望に満ちた年になりますよう祈念申し上げ、年頭の挨拶とします。



歳末米粉もちの配布

ふれあい部では、12月24日(月)歳末恒例の「米粉餅」を65歳以上の独居老人及び75歳以上の高齢者世帯の方に配布した。訪問先で、ある高齢者は、「これを楽しみにしていた。いつも有難うございます。」と話していた。



青空市感謝祭12.23 大盛況...



♪イルミネーション♪

12月9日(日)地域の子も達と、初めての試みとして、「えぷろん」でイルミネーションづくりを行った。寒風の中、20数名が参加し、交流を深めた。幻想的な光のコーポレーションを1月14日まで点灯。
＜赤い羽根共同募金助成事業＞
(地域づくり部)



あいみ地区の郷土芸能を伝承 (南部中学校生徒)

11月13日(火)米子コンベンションセンター大ホールで行われた、平成24年度西部地区中学校総合文化祭に、西伯郡の中学校代表として南部中学校がゲスト出演しました。大きな舞台上で緊張しましたが、2年生有志32は、小松谷盆踊り保存会(梅原弘誓会長)の皆さん15名という心強いサポートを得て、『小松谷盆踊り』と『ばんば踊り』を披露しました。

南部中学校では、毎年、『小松谷盆踊り保存会』の方にご指導をいただき、体育祭において全校生徒で踊っています。南部町に古くから伝わる「小松谷盆踊り」は、平成7年には鳥取県無形民俗文化財に指定されており、地域に残る伝統として、中学生も継承していく使命を感じています。

また、踊りの時に履いた草履も、三鴨満子さん・三鴨絹枝さんに教えていただき、ひもを編んで自分たちで作ったものでした。

地域に支えられ、地域に貢献する南部中学校を、これからもよろしくをお願いします。(本稿は中学校から寄せられたものを掲載した。)



視察・研修報告



「特産品づくりで地域活性化」「地域おこし」のヒントを探る目的で、12月8日(土)出雲市佐田町に視察・研修を行った。

「ビタミンの里よしの」は、地域のもち米に付加価値をつけ、高齢者の働き場・交流の場とし、7人で年商1,000万円の売り上げ。農閑期の人材を有効活用し、圏域のスーパー等で販路を確保。

牧場のパン屋さん「カウベル」は、地元産のコメ・牛乳等にこだわった「米粉パン」の開発・販売を先進的に取り組む。各種体験等を通して、リピーターを確保。

地元産野菜や加工品販売を行う、「青空市」の今後の方向性を検証するうえで、大いに参考となるものを感じた。

この視察・研修会には、えぶろん餅加工グループ4人を含め16名が参加した。(総務企画部)



富有の風

昨年は、12月上旬に積雪があり、あわてて冬用タイヤに変えた。エルニーニョ現象が終わり、この冬の降雪量は平年並みか多い予報になっている。

里雪のパターンは、西高東低であり、上空5000メートル付近でマイナス35度以下の寒気を中心に日本海まで南下、等圧線が日本海上で大きく蛇行すると里雪形の大雪になりやすいそうだ。

師走の選挙も終わり、お正月を迎えた。正月には、おせち料理も良いが雑煮がいい。丸餅を入れた「すまし仕立」で岩海苔をのせて食べるのが1番!!(M)



行事案内

★富有塾

日時:1月21日(月)17:00~

場所:いこい荘

講師:北野節穂氏

テーマ:「理容業50年一地域を語る」終了後懇親会を予定

★青空市 1~3月はお休みします。

★児童・生徒の通学路(歩道)除雪独自計画

歩道の新雪が概ね10cm以上となった場合に出動...

金田線・朝金線・町グラ線を地域住民の皆さんの協力を得て実施するほか、2台を共有管理とし、必要な集落に貸出。

